

うきは市ゼロカーボンビジョン

実施状況報告（令和5年度実績）

令和6年（2024）年6月

うきは市

1. 作成趣旨

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第15項に基づき、毎年1回、地方公共団体実行計画に基づく措置及び施策の実施状況を公表することが義務づけられています。

うきは市においては、令和5年3月に策定した「うきは市ゼロカーボンビジョン」を地方公共団体実行計画に位置付けています。

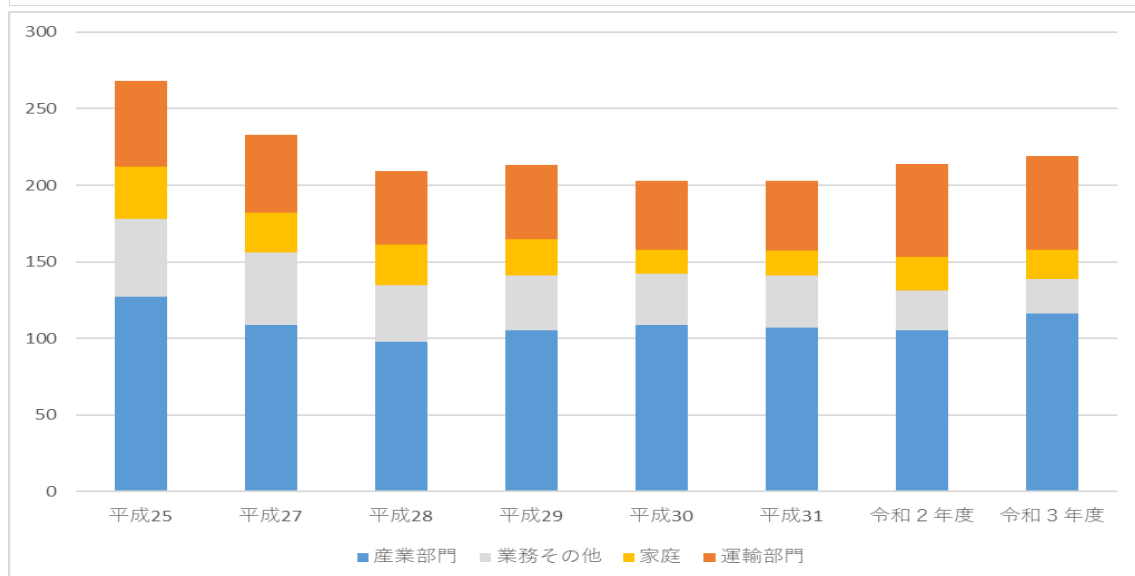
2. 区域施策編の状況

ア. うきは市温室効果ガス排出量の推移

単位：千t-CO₂

	平成25 (2013) 年度	平成27 (2015) 年度	平成28 (2016) 年度	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	令和2年度 (2020) 年度	令和3年度 (2021) 年度
産業部門	127	109	98	105	109	107	105	116
農林水産業	4	8	8	8	7	7	7	6
建設業・鉱業	3	3	2	2	2	2	1	2
製造業	120	98	88	95	100	98	97	108
民生部門	85	73	63	60	49	50	48	42
業務その他	51	47	37	36	33	34	26	23
家庭	34	26	26	24	16	16	22	19
運輸部門	56	51	48	48	45	46	61	61
自動車（旅客）	16	13	11	12	11	12	26	26
自動車（貨物）	37	36	35	34	33	33	33	33
鉄道	3	2	2	2	1	1	2	2
廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	268	233	209	213	203	203	214	219

出典：平成25年～31年度うきは市ゼロカーボンビジョン
令和2年度～環境省 自治体排出量カルテ



イ. 再生可能エネルギーの導入量 (FIT 制度)

単位：k W

		平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	令和 2	令和3	令和4
		(2014) 年度	(2015) 年度	(2016) 年度	(2017) 年度	(2018) 年度	(2019) 年度	(2020) 年度	(2021) 年度	(2022) 年度
太陽光 発電	10 k W未満	4,748	5,196	5,497	5,878	6,218	6,437	6,690	6,928	7,204
	10 k W以上	10,896	13,558	14,414	15,143	15,624	17,251	19,836	21,755	22,205
風力発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水力発電		0	0	0	162	162	170	170	590	590
地熱発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
バイオマス発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		15,644	18,754	19,911	21,183	22,004	23,858	26,696	29,273	29,999

ウ. 再生可能エネルギーの発電電力量 (FIT 制度)

単位：MW h

		平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	令和 2	令和3	令和4
		(2014) 年度	(2015) 年度	(2016) 年度	(2017) 年度	(2018) 年度	(2019) 年度	(2020) 年度	(2021) 年度	(2022) 年度
太陽光 発電	10 k W未満	5,698	6,235	6,597	7,054	7,463	7,725	8,029	8,315	8,646
	10 k W以上	14,413	17,934	19,066	20,031	20,667	22,819	26,239	28,776	29,371
風力発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水力発電		0	0	0	851	851	894	894	3,101	3,101
地熱発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
バイオマス発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		20,111	24,169	25,663	27,936	28,981	31,438	35,162	40,192	41,118
区域の電気使用量		157,014	143,763	144,575	147,596	142,458	140,145	145,038	158,286	158,286
対消費電力FIT導入比		12.8%	16.8%	17.8%	18.9%	20.3%	22.4%	24.2%	25.4%	26.0%

3. 事務事業編の状況

ア. うきは市事務事業に伴う温室効果ガス（CO₂）排出量の推移

単位：t-CO₂

排出源			温室効果ガス排出量									
			平成25（2013）年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			（基準年度）		（2020）年度		（2021）年度		（2022）年度		（2023）年度	
			排出量	全体に占める割合	排出量	全体に占める割合	排出量	全体に占める割合	排出量	全体に占める割合	排出量	全体に占める割合
エネルギー起源	CO ₂	電気	4,519	86.9%	2,620	87.9%	3,383	89.3%	2,331	85.1%	3,088	89.1%
		ガソリン	182	3.5%	109	3.6%	111	2.9%	122	4.5%	121	3.5%
		灯油	299	5.8%	110	3.7%	159	4.2%	144	5.3%	120	3.5%
		軽油	0	0.0%	16	1.0%	14	0.4%	27	1.0%	28	0.8%
		A重油	80	1.5%	13	0.4%	5	0.1%	4	0.1%	0	0.0%
		ガス	120	2.3%	114	3.8%	116	3.1%	111	4.1%	110	3.2%
	総計	5,201	100.0%	2,982	100.0%	3,789	100.0%	2,739	100.0%	3,467	100.0%	
平成25（2013）年度比			100.0%		57.3%		72.9%		52.7%		66.7%	
平成25（2013）年度比			0.0%		▲42.7%		▲27.1%		▲47.3%		▲33.3%	
基準の削減量												

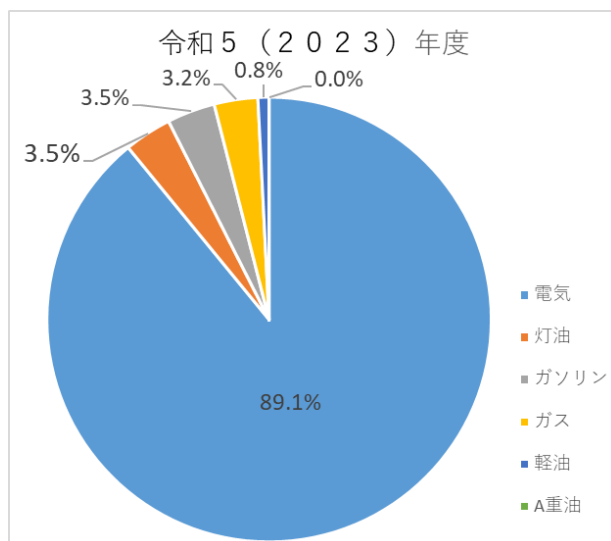
※表中の数値は、端数処理により合計値と一致しない場合があります。

◇令和5年度（2023年度）のうきは市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、3,467t-CO₂でした。

◇基準年度である平成25年度（2013年度）と比較すると33.3%減少しています。

◇主な減少要因は、全体に占める割合が大きな電気について、各電力会社のCO₂排出係数が影響していることと、省エネが進んできていることが考えられます。

イ. 市有施設の排出源（エネルギー起源）ごとのCO₂排出量割合

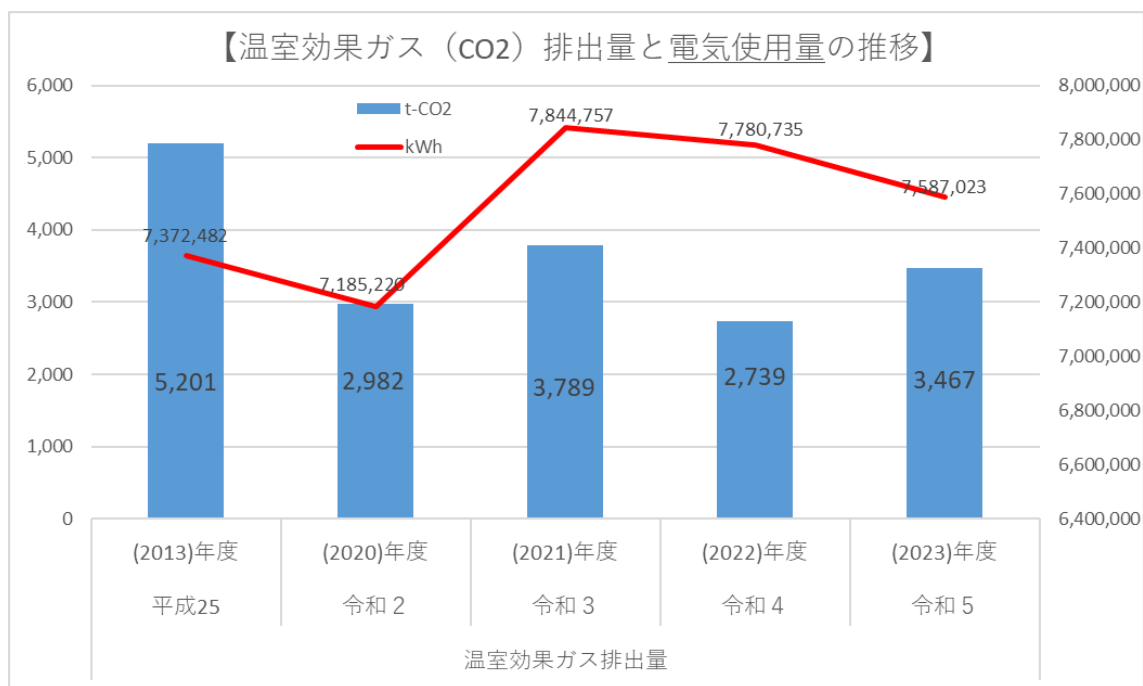


◇令和5年度では、エネルギー使用量（二酸化炭素換算）の89.1%を電気が占めています。

【排出源ごとのエネルギー消費量の推移】

排出源			単位	エネルギー消費量				
				平成25	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
				(2013) 年度	(2020) 年度	(2021) 年度	(2022) 年度	(2023) 年度
エネルギー 起源	CO ₂	電気	k W h	7,372,482	7,185,220	7,844,757	7,780,735	7,587,023
		ガソリン	L	78,259	46,822	38,633	52,605	52,057
		灯油	L	120,201	44,225	63,966	57,807	48,310
		軽油	L	0	6,218	5,560	10,455	10,683
		A重油	L	29,606	4,700	2,000	15,000	0
		ガス	m ³	18,365	17,487	17,723	16,985	16,771

温室効果ガスの主な排出源となっている電気については、以下のグラフのとおり、基準年度と比較して増加していますが、前年度（令和 4 年度）と比較すると減少しています。



【電力会社基礎排出係数の推移】

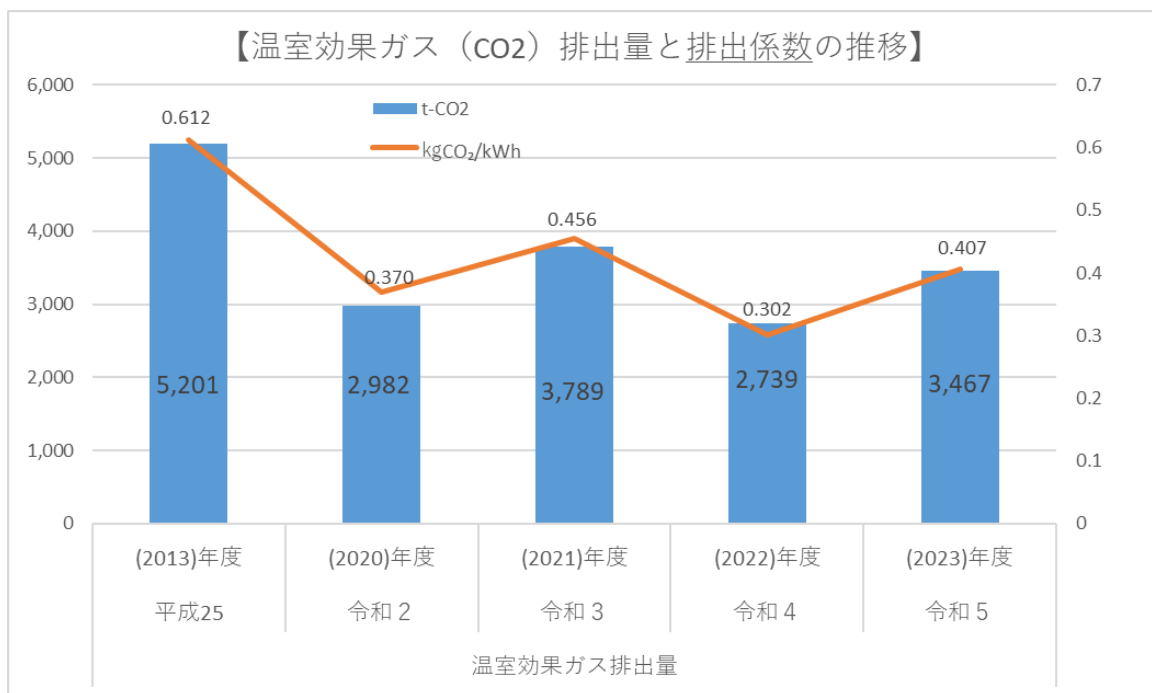
基礎排出係数の推移	単位	平成25	令和2	令和3	令和4	令和5
		(2013) 年度	(2020) 年度	(2021) 年度	(2022) 年度	(2023) 年度
九州電力(株)	kgCO ₂ /kWh	0.612	0.344 (～12月まで)		0.296 (5月～)	0.407
(株)F-Power	kgCO ₂ /kWh		0.448 (1月～)	0.477 (～12月まで)		
(株)ウエスト電力	kgCO ₂ /kWh			0.392 (1月～)	0.369 (～4月まで)	
平均値	kgCO ₂ /kWh	0.612	0.370	0.456	0.302	0.407

※主要公共施設（24施設）の契約電力会社の排出係数

※基礎排出係数は、公表時期の都合により、前年度の数値を表示しています。

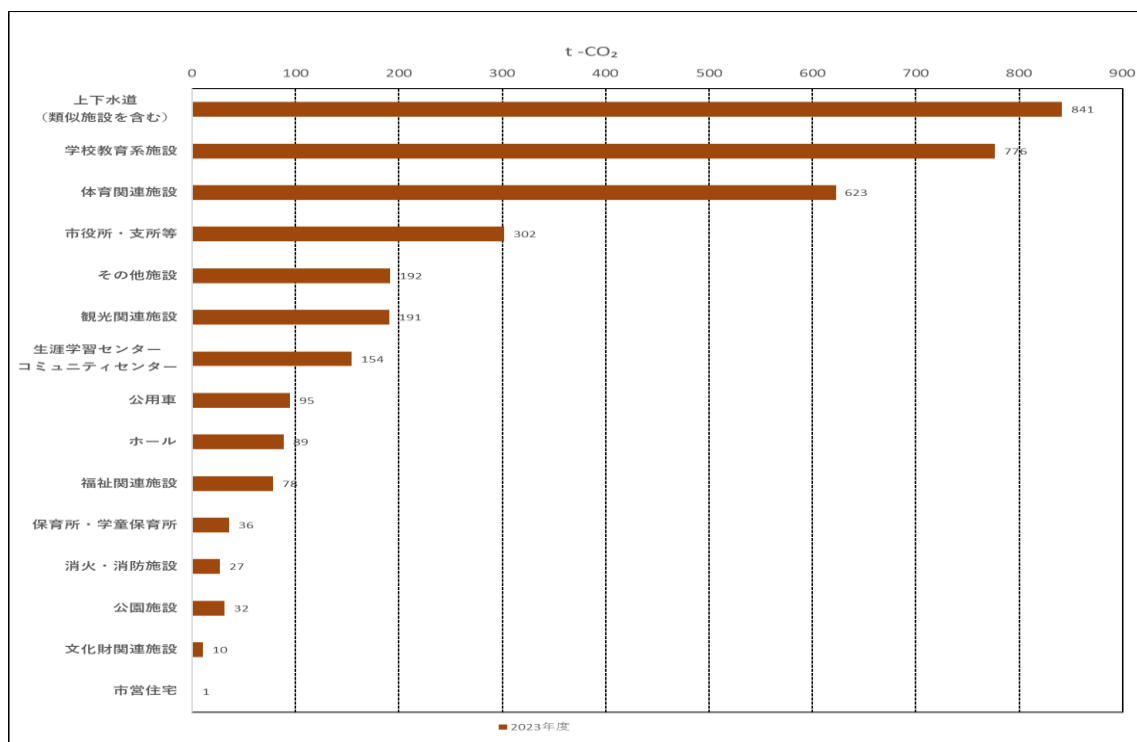
以下のグラフを見ると、うきは市の温室効果ガス（CO₂）排出量と、電力会社の排出係数の増減の傾向が一致していることが分かります。

これは、電気の使用量がうきは市の温室効果ガス（CO₂）排出の主な要因となっていますので、電力会社の排出係数の増減が、温室効果ガス（CO₂）排出量の増減に大きな影響を与えることになるためです。



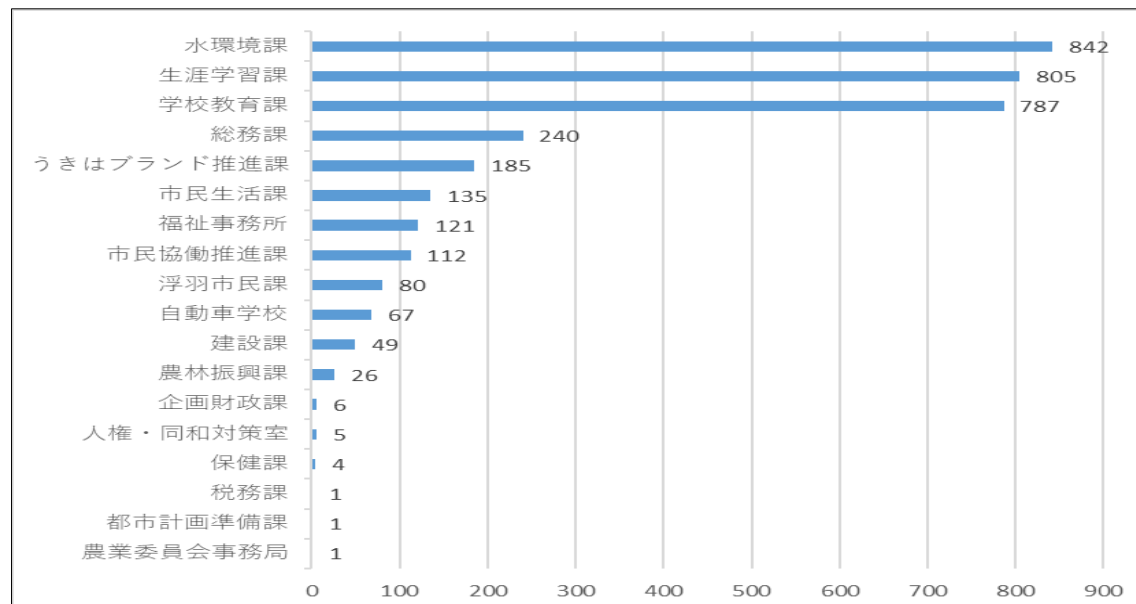
ウ. 令和5（2023）年度における温室効果ガス排出量の施設分類別内訳

単位：t-CO₂



エ. 令和5（2023）年度における温室効果ガス排出量の各部署別内訳

単位：t-CO₂

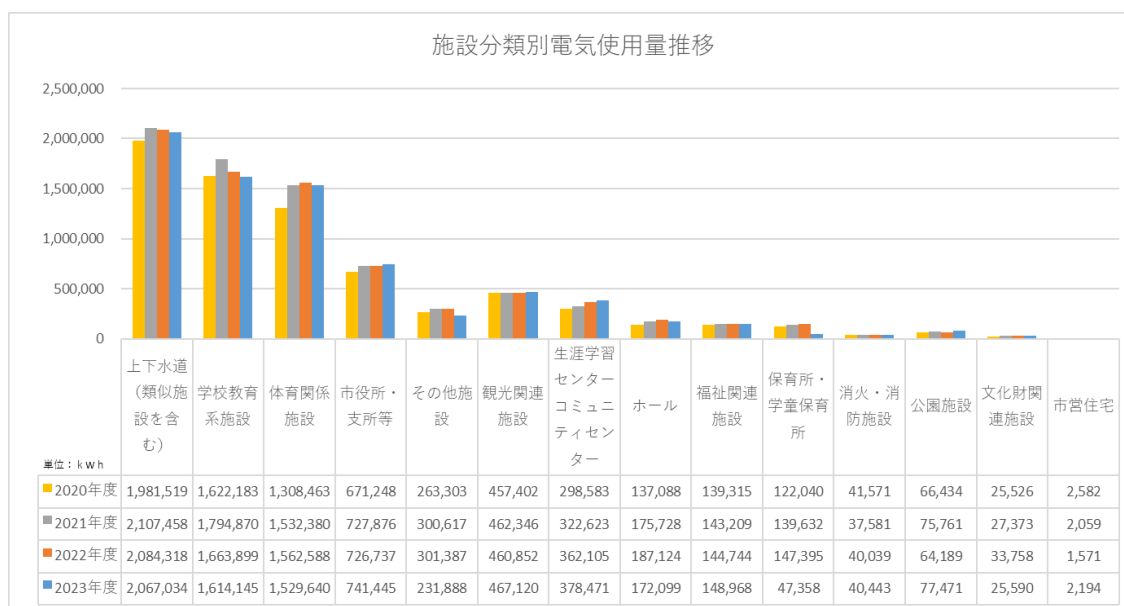


◇排出量が多い箇所に共通している点は、施設を所管する部署が上位を占めています。

◇施設の省エネ化、ZEB化等を進める事で、CO₂排出量削減に向けて取組を進める必要があります。

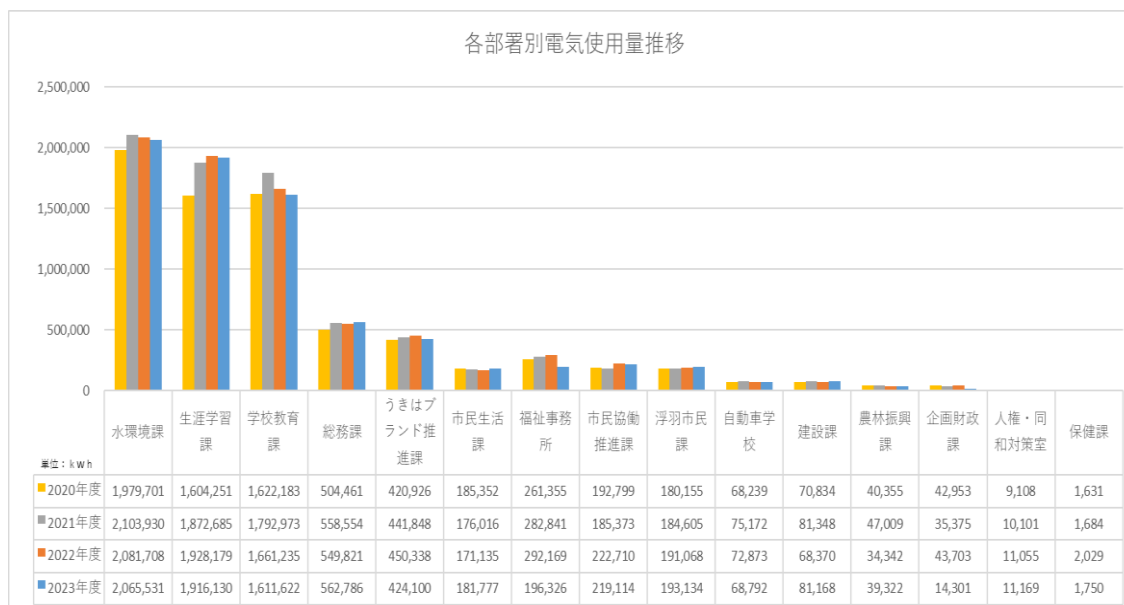
オ. 施設分類別の「電気」使用量の推移

単位：kWh



カ. 各部署別の「電気」使用量の推移

単位：kWh



◇排出源のうち割合の最も高い「電気」の使用量については、学校教育系施設において省エネ改修等の効果が表れています。

4. 令和5年度主な取組

- うきは市公共施設Z E B化検討業務

- ・既存建築物のZ E B化改修の進め方、可能性を明らかにするため、うきは市総合福祉センターのZ E B化可能性調査を実施した。

- 第4回脱炭素先行地域選定

- ・環境省の第4回脱炭素先行地域に応募し、選定を受けた。(令和5年11月7日選定)